

令和8年度学校経営方針

江戸川区立清新第一小学校

統括校長 金木 圭一

誰にとっても心理的安全性の保たれた居場所である学校 できる・分かる、自信が付く教育を目指す学校 地域が応援したくなる学校

昭和58年、本校は地域と共に生まれ、歩み、今年度は開校して44年目となります。卒業生や保護者、地域の皆様の熱い思いをこれまでも受け継いできました。しかし、受け継ぐだけでは成長はありません。本校の更なる成長に向け、教職員一丸となって、歩みを進めていきましょう。

教師が果たすべき重要な使命は、国の未来を担う宝である児童の将来を見据え、児童一人一人を見つめ、伸ばし、分かった・できたことを通じて自信がつく教育の推進です。そのためには、

- 伴走者である教師自らが、児童のよさや可能性を引き出し伸ばすことができるよう、一人一人の個性を理解し、自ら研鑽を重ね、柔軟な発想で対応できる学習指導力や生活指導力を高めます。
- 誰もが安心して学習し、生活できる環境を整えるため、教師自らが豊かな人間性と思いやりの心を持ち、児童とかわり、互いを思いやる心を育みます。
- 教師一人一人が教育公務員としての熱意と使命感を持ち、組織人として積極的に協働し互いに高め合う学校風土を作り上げます。

私たち教職員は、公教育に携わる者として、法律や条例、学習指導要領等を遵守し、教職員が一丸となり、チームとして同じ方向を向かい、保護者・地域と連携した教育を推進します。

○ 教育目標 重点目標「思いやりのある子」

体をきたえる子 思いやりのある子 最後までやりぬく子 進んで学習する子

○ めざす学校(職場)の姿

- ・ 互いの人権を尊重し、児童一人一人を大切にしている学校
- ・ 心理的安全性が保たれ、教職員間のコミュニケーションが活性化している学校
- ・ 明るくあいさつが飛び交い、規律と活気があり、安全・安心が保たれている学校
- ・ 学校、保護者、地域、清新・臨海地区の学校が連携し、協力し合う学校
- ・ ライフ・ワーク・バランスを考え、各自が効率的な仕事を進めていく学校

○ めざす教師の姿

- ・ 高い倫理観と多様性に配慮した人権意識のある教師
- ・ 児童のよさや可能性を信じ、温かさや厳しさを兼ね備え、柔軟に対応できる教師
- ・ 学習指導要領に基づき、向上心をもって絶えず研鑽に励み、常に学び続ける教師
- ・ 学校経営に参画意欲を持ち、他者と協働し、学校課題の解決に励む教師
- ・ 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼される教師

○ 教育目標を達成するための指導の重点

1 誰にとっても心理的安全性の保たれた居場所である学校

- 人権教育を推進し、差別の解消と豊かな人間性を高めること、自他の権利を守ることを大切にします。
- いじめを絶対に許さない心と実行力を育むために、特別の教科道徳や学級活動においていじめ防止に関する授業を実施するとともに、年3回のいじめアンケート及び同時期のいじめ防止の指導を実施します。
- いじめ・不登校、問題行動などに対する定期的な会議等を実施するとともに、必要に応じて関係機関とも連携するなど、組織的な対応を図ります。
- 登校時に児童を出迎え、1日の終わりには L-Gate を確認し、児童の相談には傾聴する姿勢で対応します。
- 児童によるあいさつ隊、たてわり班活動、学級活動等の充実により、互いを思いやる心を育み、児童間、児童と教職員間の温かなコミュニケーションの活性化を図ります。
- 清新第一小スタンダード、SNS 家庭ルールづくりに基づき、学習規律や生活規律が身に付くよう、保護者と連携し、繰り返した指導を行います。
- 支援が必要な児童に対して、校内委員会を中心とした教員間の連携を図り、児童・保護者のニーズに応じた組織的、計画的な指導を行います。

2 できる・分かる、自信が付く教育を目指す学校

- 各種学力調査等を教科等の指導に生かすとともに、放課後学習教室での個に応じた指導やスタディーウィーク等の家庭学習等に生かします。
- 学習ドリルや探究的な調べ活動、デジタルワークシートやプレゼンテーション等、一人1台端末を繰り返し活用します。
- 第5・6学年の全教科での教科担任制を実施し、質の高い授業を展開するとともに、児童の多面的・多角的な理解の促進を図り、児童の個の力を伸ばしていきます。
- 学校図書館の活用や朝読書により本に親しむ機会をもつとともに、探究的な学びのサイクルにおける情報収集や情報の分析方法等が身に付くように指導します。
- 英語専科と ALT を中心に外国語活動を充実し、英語を話したい、使ってみたいと思える機会を創出します。
- 日常的に運動遊びがしたくなる仕掛けを学校内に整えたり、なわとびチャレンジウィーク等の機会には目標と振り返りを重視したりすることで、運動意欲の向上を図ります。

3 地域が応援したくなる学校

- 首都直下型地震や大型台風等を想定した防災計画及び緊急災害対応マニュアルを随時見直し、避難訓練や避難所開設訓練等を実施します。
- 年3回の学校公開、運動会や学習発表会等を通じて教育活動を公開するとともに、学校ホームページを充実します。
- 学校評議員会での声や学校関係者評価、児童・保護者アンケート等の実施により、教育活動を評価し、次の計画に生かします。